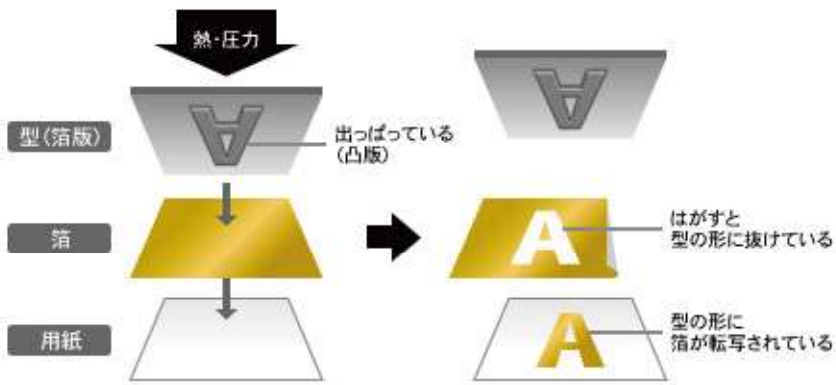


箔押し加工

【箔押し加工のしくみ】

箔の裏面に接着剤があり、型からの熱と圧力で箔を用紙に熱圧着する。



【箔押し加工】



熱した金属の凸版で紙に圧力をかけ、表面に箔を定着させる加工のこと。

熱と圧で紙の表面に箔を定着させる加工のことです。

箔押し加工は、文字や絵柄をもとに箔押し用の版（金型）を作り、高温（約 170 度）の熱と、圧力で、金や銀などの箔を用紙に熱転写させています。

インクで行う印刷とは異なり色付きの箔を定着させるため、

用紙色に左右される事なく、くっきりとした色表現が可能です。



コースターの箔版とは形状や位置合わせのトンボはことなりますが左写真のような金属版を使用します。これを熱して箔を焼き切り紙に圧着させます。



絵柄は異なりますが、このようにして作業すると高級感あふれる製品が生まれます。

※デザイン・印字面の大きさによってはご要望通りの仕上がりにならない場合がございます。ご不明点がございましたらお申し付けください。